

◆◆ようこそ鳥大へ！◆◆
～新・留学生へのオリエンテーション開催～

鳥取大学国際交流センターは10月8日(土)、鳥取県国際交流財団及び鳥取市国際交流プラザの協力の下、新留学生を対象にしたオリエンテーションを実施しました。平成28年度後期に鳥取大学へ迎えた新留学生は合計60名。そのうちまだ渡日していない学生もあり、新留学生と研究者3名の総勢61名が本オリエンテーションを受けました。

はじめに留学生達が居住する国際交流会館において、消防訓練を実施しました。留学生達は火災ベルが鳴ると各居室から国際交流会館外へ避難をし、安全確認を行った後、消防署の細やかな説明と指導の下、実際に消火器を扱って消火訓練を行いました。その後、起震車に乗って震度5以上を全留学生が体験しました。初めて地震を模擬体験する学生が多く、消防署の方から話を聞き、地震に対し理解を深めていました。

その後、国際交流プラザに移動し、中島国際交流担当理事・副学長から歓迎と激励の挨拶を受けた後、英語、中国語、韓国語の3つの語圏グループに分かれて、鳥取での生活に必要な情報や在留資格など、また保健管理センターによる健康管理に関する説明を受けました。午後からは鳥取警察署による交通安全講習会が開かれ、緊急時の警察への連絡方法や交通安全、標識の説明、自転車の乗り方などについて説明を受けました。

引き続き、鳥取市国際交流プラザから、施設の利用やごみの分別方法・出し方についての説明があり、実際にどのゴミをどうやって分別するか体験しながら学習しました。

最後に、鳥取空港内にある鳥取県国際交流財団に会場を移し、同財団の紹介とともに、日本語学習支援などの交流事業について、財団職員から説明を受け、一日のオリエンテーションを終えました。

